



思わず笑顔になる  
まちの話題を  
みなさまに  
お届けします

### 愛知用水がつなぐ友情

愛知県南知多町立篠島小学校の5年生10名が、錦津小学校を訪れ、交流学習が行われました。

この行事は、愛知用水の起点と終点を結ぶ縁で平成8年から始まり、今年で23回目を迎えます。お互いの学校で1泊2日ずつ交流し、それぞれの地域のことを知り、体験することを通して友情を深めます。

最初はちよつと緊張していましたが、杉原千畝記念館と一緒に見学し、プールやネイチャーゲーム、キャンドルファイアーで交流を深め、とつても仲よしになりました。また、子どもたちが摘み取ったお茶が使われた、保護者手作りのおやつも、一緒に味わいました。参加した篠島小学校の吉戸さんは、「とても楽しい2日間でした。」



ダムを見学したり、箸作りをしたりと、今までしたことのない経験ができました。作った箸は、家族に見せたいです。錦津小のみんなとも仲良くなれました。また八百津に来たいし、錦津小の子にも篠島に来てほしいな」と笑顔で話しました。

「さよならー！また会おうねー」篠島小の子どもたちを乗せたバスが見えなくなるまで、手を振る子どもたちの声が響きました。

9月8日(土)

### 筑前琵琶でつづる

### 平家物語の世界



12回目を迎える、今年の筑前琵琶演奏会。町内在住の筑前琵琶演奏家・田中旭泉さんの情感たつぷりの演奏に、引き込まれました。

今回は、読み語りのいちかわあつきさんとの共演で、「父子の情」を主題に、平家物語から「<sup>えびら</sup>籠の梅」と「熊谷と敦盛」の2曲を披露していただきました。

来場された60代の女性は、「毎年、とても楽しみにしています。戦国の世の中の人情味あふれる工ピソードに、心が揺さぶられます。来年も必ず来たいと思います。」

「す」と演奏会の余韻を楽しんでいました。

同日、開演前には、中部学院大学講師の三木秀生先生による「とつても楽しい平家物語講演も行われました。」

演題のとおり、三木先生はとても楽しい語り口で、会場を虜に。難しいと敬遠されがちな古典をテーマとした講演会にも関わらず、笑い声であふれる講演会となりました。

参加者は「平家物語の世界が、ぐつと近づいたように感じます。すっかり三木先生のファンになりました。演奏会が楽しみです」と笑顔で話しました。

